

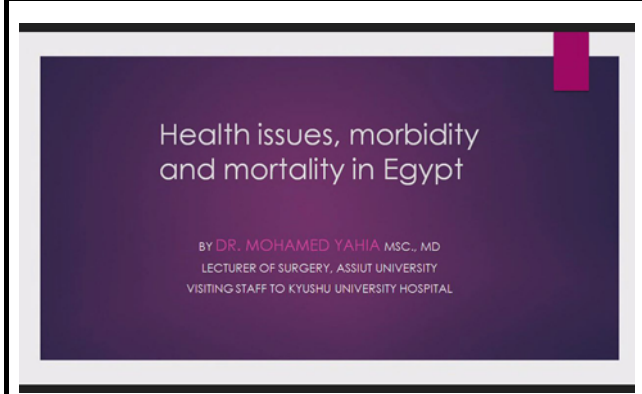
<p>【イベント名】 第1回 立命館アジア太平洋大学への遠隔講義</p>	<p>【概要】 清水教授のご高配により「実際に生きた情報」を来日中に医師達に提供していただくこととなった。最初の交流医師はモハマド先生（エジプト）であり、「エジプトにおける健康問題と罹患率および致死率」という話材でご講演をいただいた。モハマド先生のご説明において特に強調される疾患があり、一般的な知識よりも本当にエジプトの人々が何に困って居るかを学ぶことができ、大変有意義な交流であった。</p>
<p>【期日】 2016.11.14</p>	
<p>【会場】 立命館アジア太平洋大学（日本）、 九州大学病院（日本）</p>	



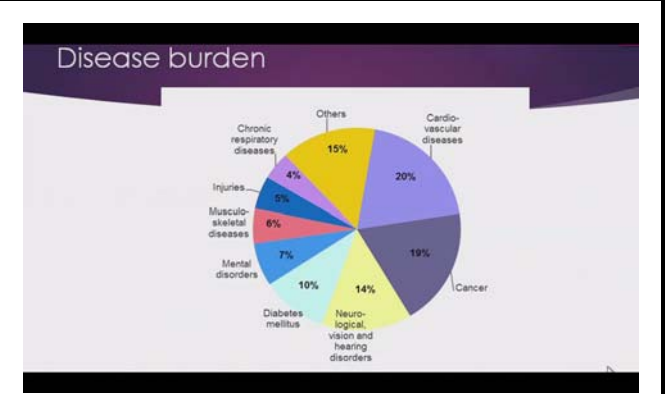
講師であるDr. 三森（左）と学生（右）。
撮影場所：立命館アジア太平洋大学



発表するDr. Mohamed。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



提示されたグラフ。
撮影場所：九州大学病院



接続を調整する九州大学のエンジニア。
撮影場所：九州大学病院



テレカンファレンスはカジュアルな雰囲気で行われた。
撮影場所：九州大学病院